会議の概要

令和８年度
大玉中学校　学校運営協議会

日　時：令和８年９月１５日（火）１３：３０～１６：２０
場　所：大玉中学校各教室、被服室、調理室
（ 進行 ： 大玉中学校教頭　阿部　仁 ）

１　開　　会

（１）開会のことば　（ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長　舘下　愛理 ）
＜以下ＣＳ委員会と略記＞

皆さん、こんにちは。これより令和８年度大玉中学校学校運営協議会を始めます。よろしくお願いします。

（２）教育長あいさつ　　（ 大玉村教育委員会教育長　渡辺　敏弘 ）

皆さん、こんにちは。本日は雨模様の中、大玉中学校の学校運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。特に大玉中学校の教職員の皆様には、先週のオープンスクールに引き続いて準備や授業提供をしていただき、そしてこの後の熟議にもご参加いただきます。いろいろとご苦労をおかけしておりますが、ご協力いただきありがとうございます。また、本日は教育委員の学校訪問も兼ねて行っておりますので、教育委員の皆様にもご参加いただきますのでよろしくお願いします。



今回は各グループに２名ないし３名の生徒の皆さん、１年生から３年生までたくさん参加していただきました。大変嬉しく、感謝申し上げます。それぞれのグループに様々な立場の方々が集まって、ある意味難しさもあろうかとは思いますけれども、逆に「なるほど、そういう考えもあるのか。」とか、あるいは、「そんなふうに考えると何となく腑に落ちるな。」とかがあって、様々な気づきや納得、あるいは面白さみたいなものを感じられるのではないかと思っております。ぜひこの後の取り組みを通して、この大玉中学校が少しでも良い方向に行くようなそういったアイディアがたくさん出される時間になったら一番いいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（３）おおたま学園ＣＳ委員会会長あいさつ　　（ ＣＳ委員会会長　矢吹　吉信 ）

皆様、改めましてこんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。そして、大玉中学校の校長先生を始め先生方、そして生徒の皆さん、本日は授業を参観させていただきまして本当にありがとうございました。生徒さんが頑張ってる姿を見ると、私たちＣＳ委員は応援団として、また皆さんのために何かをご提供させていただきたいなと改めて思った次第でございます。生徒の皆さん、本当は帰る時間だと思いますが、今日は残っていただいて、こ

の熟議に参加していただきます。そして、今日のテーマに「大玉村のさらなる発展のために」という文言が入っております。大人だけの会議だとなかなか意見が出なかったりするのですが、１年生から３年生の生徒さんに集まっていただいていますので、若いからこそ出る意見というのはたくさんあると思います。遠慮しないで、何でも言ってほしいと思います。大玉村のさらなる発展のために、若い世代の意見が一番大切だと思っておりますので、遠慮しないで何でも発言していただければと思います。

今日は限られた時間ですが、たくさん話していただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。以上でございます。お世話になります。

２　熟　　議

（進　　行）それでは熟議に移ります。時間は約１時間です。まず初めに、本校校長よりごあいさつ申し上げます。

（１）校長あいさつ　　（ 大玉中学校長　久保寺　徹 ）

皆さん、こんにちは。校長の久保寺です。本日はお忙しい中、こうして学校運営協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。また、生徒の皆さん、今矢吹会長からもありましたが、ぜひ会話を楽しんでほしいというお話がありました。今日は、この時間熟議ということでこれから教頭先生から熟議のテーマについて説明してもらいます。今日は、お父さん、お母さんがいませんから、格好つけなくていいですので、正直な気持ちでぜひ大人の方と意見を交わしてほしいと思います。大人の皆さんは、それをぜひ受け止めていただければありがたいなというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。



（２）テーマ及びグループ協議のすすめ方について　　（ 大玉中教頭 ）

それではテーマについてご説明いたします。ちょっと見づらいかもしれませんがご了承ください。本日のテーマは、「良きデジタル市民になるためにはどうあればよいか」ということで設定いたしました。まず、その設定の意図をお話しいたします。

GIGAスクール構想が始まって７年目となります。GIGAスクール構想というのは、“Global and Innovation Gateway for All”という「全ての子どもに世界と繋がる革新的な学びの扉を開く」というテーマのもとに、一人１台の端末が配付されたこの３章の政策の部分です。

これまで大玉村ではデジタル・シチズンシップ教育を推進してきました。そこで培う力として、「情報を調べる力」、「新しいものを創造する力」、「ニュースを見極める力」、「安全や健康、思いやりの意識」、「社会に参画する意欲」、こういった力を育てようということで進めております。

本校生徒の実態について（毎学期にSNS調査を実施）

○ 大玉中生がほぼ毎日使用する機器として一番多いのがスマートフォンで、全校生（２５８人）のうち１８７人が使用している。次いでゲーム機、タブレットなどを使用してSNSや動画を視聴しているという結果が出ている。

○ 平日の平均使用時間 … ３０分まで、または１時間までという生徒は少数で合わせても１４％程度。多くが２時間までの使用で３１％、そして３時間までの使用が２６％、４時間以上・５時間・６時間を超える生徒は全体の１３％

○ 機器使用の目的 … 一番多いのが動画の視聴（１８２人）、次いでSNS、ゲーム、音楽

○ 「機器の使用やSNS利用について家庭内のルールはありますか」という質問に対しては、「ある」と回答した生徒が６０％、「ない」と回答した生徒が４０％



○ 今年度の全国学力学習状況調査の結果（SNSや動画使用時間と正答率の関係）から

＜国語＞ … ３０分未満の使用で収まっている生徒は、正答率が７０％を超えている。４時間以上使用の生徒は６０％を下回るという結果

＜数学＞ … ３０分未満の生徒の正答率６９．６％。４時間以上使用の生徒の正答率が４８．７％という結果

○ 「総合的な学習の時間などでパソコン、タブレットなどの新ICT機器を使ってうまく情報を集めたり整理して発表したりできていますか」という質問で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」というふうに回答した生徒がそれぞれ３７．５％、４４．３％いた。そのようにタブレットなどを使用できる生徒ほど、国語や数学の正答率が高いという結果も出ているので、一概に使用しない方が良いというようなことは言えないと捉えられる。

世界・国内の動向について

＜オーストラリア＞ １６歳未満のSNS利用を禁止する法律が２０２５年１２月に施行

＜インドネシア＞ 政府がハイリスクと分類するSNSについて１６歳未満のアカウントを停止

＜フランス＞ １５歳未満のSNS利用を禁止するという法律が２０２６年９月から開始

＜日本国内＞ 愛知県の豊明市では、全市民を対象に「１日の余暇時間のスマホ利用を２時間以内、中学生のスマホの利用は午後１０時まで」というような義務や罰則を課さない理念ではあるが、条例が出ている。神奈川県では、ネットやゲーム依存症対策条例が２０２０年に施行。

埼玉県川口市でも、子どものインターネットの適切な利用の推進に関する条例というのが出ている。こういった利用に関する社会的な関心が非常に高まっている状況にある。

★　本日の熟議では、『良きデジタル市民になるためにはどうあればよいか』ということで、グループの中で、例えば「一人１台端末やスマートフォンをどのようにしていく使用したらよいのか」、「幼・小・中の連携で使える場面はあるか」、「家庭や地域、学校の連携をどのようにしてICTを使っていったらよいか』等について話し合っていただきたいと思います。

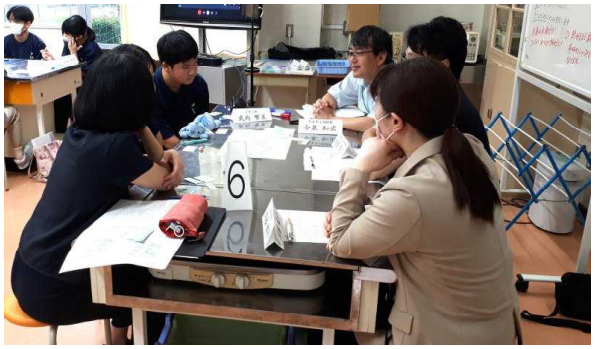
この後各グループで自己紹介の後、それぞれ生徒は黄色の付箋を、ＣＳ委員の皆さんや教育委員会の皆さんはピンク、学校の先生は青の付箋にそれぞれの立場でいろんな発想で構いませんので書き込んでいただき、その後テーマに合わせて意見を出し合ってください。共通する内容についてはさらに話し合いを深めていただきたいと思います。

活発な、それから先ほど校長先生からもありましたようにざっくばらんに、お父さんお母さんの前では言えないけれども今日学校では言えるかなということでも構いませんので、今の気持ちを発表し話し合いを深めてください。それでは各グループにわかれて話し合いを始めてください。よろしくお願いします。

（３）グループ協議













（４）全体共有　～代表の班による発表～

（進　　行）活発な熟議ありがとうございました。話し合ったことを全体で共有していきたいと思いますので、各会場２班ずつ発表をお願いできればと思います。では、まず被服室会場から始めたいと思いますが、ぜひ発表したいという班がありましたらお願いします。（以下は要点のみ記述）

＜ 発表１（１班） ＞



○　寝る３０分ぐらい前にはメディアを操作しない。

○　使用時間を親と子平等にしたらいい。

○　教科書の内容をタブレットにしてほしい。１回だけでもいいから携帯を学校に持ってくる機会をつくる。そして、学級のルールを決めていきたい。

＜ 発表２（４班） ＞

○　一人１台端末やスマートフォン等望ましい使い方



・ 学校と家庭では使い方が違うので、ルールを別々に決めた方がいい。

○　幼・小・中の連携の視点から

・ 幼・小・中それぞれの現状を共有していくことが大切。

○　家庭・地域・学校との連携の視点から

・ 学校では持ち込みなどの連絡がすぐにできて便利だが、地域などでは連携が甘く、あまり取れていないと思うので、地域との連携がもっと大切。

（進　　行）ありがとうございました。それでは、調理室会場にお願いしたいと思います。

＜ 発表３（９班） ＞



○　使用制限はない方がいいと思う。使用制限のせいでやりたいことができないデメリットがでてきてしまう。責任を持って扱えるようにすることが大事。

○　具体的な条件や使い方、マナーについて地域や学校でもう少し知る機会を増やせたらいい。

○　高齢者や子どもがインターネットを使用する機会を増やす。そんな場所をつくっていけたらと思う。多くの人がインターネットを正しく使える力を身につけることによって、大玉村の新たな未来が開ける（つくられる）のではないか。

＜ 発表４（７班） ＞

○　メリットは、アンケートをとったり、AIやデジタル教科書を使ったり、ネットでいろいろと調べたりして情報を得ることができたりすること。



○　デメリットもあって、体のコントロールとか健康面の影響。また、ショート動画を見るのをやめられないという人が出てきてしまっていること。

○　前述のことについて家族等で話し合う機会や、危険な情報等を知る機会をもつことが必要だと思う。いい面と悪い面の両方があるので、それをコントロールすることが大事である。

３　閉　　会

（１）講　評　　（ おおたま学園ＣＳ委員会会長 ）

皆さん、本当に熱い議論をありがとうございました。特に生徒の皆さん、活発な意見を出していただき感謝申し上げます。

やはり生徒の皆さんは、メディアについていいところ、悪いところをしっかり分かっているなということを感じました。ただ、どうしてもふと見たり、YouTubeを見てしまったりする話も出てきました。「ちょっと今日は見すぎたな」とか、そういうことをちゃんと自分で分かっている部分があるんだなと理解しました。

私の班で出た意見に、「１日でいいから、学校に携帯を持って行きたい」というものがありました。「そうすることでどういったことが悪いのかを試してみたい」という思いだそうです。多分大変なことになると思いますが（笑い）、ただ、どういう大変なことが起きるのか、どんなことで叱られるのか等、そういうことも経験で１回試してみるのもいいのかなと思った次第です。なかなか学校に携帯を持ってくるというのは難しいとは思うのですが、生徒さんのそういう意見があったということで、今日いろんな気づきがありました。



そういった中で、私たち大人も携帯に依存する場面があります。（私はもう子どもは家にいないのですが、）どうしても携帯を見る時間が多い親世代がいるのも事実です。子どもに「勉強やれよ。」と言うけれども、お父さんは携帯やテレビばかり見ている。不平等なことがあるという話がありました。やはりそういった部分も大人が気をつけることで、子どもにしっかりと伝えていかなくてはならないと思います。大玉村がちゃんと幼・小・中連携をし、地域に根ざした教育をしていくためにも、大人がしっかりと気づいてやっていくべきだと改めて思った次第であります。私は、なるべく家では携帯は伏せておきます。なるべく「今日こういうことがあったな」とか、「ご飯美味しいな」とかの会話を楽しむ時間を持ちたいと考えている方なのですが、どうして

も携帯に頼りがちな時代になっています。今日お集まりの皆さん、なるべく気をつけてですね、大人が子どもの手本になれるようにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

最後になりますが、今日こうやって生徒さんと一緒にいろんな話ができたのは本当に楽しかったと改めて思った次第であります。皆さん、ご協力ありがとうございました。

（２）御礼のことば　　（ 大玉中学校長 ）

本日は限られた時間ではありましたが、活発な意見交換ができて本当に充実した時間だったと思います。ＣＳ委員の皆様本当にありがとうございました。また、中学生の皆さん、忌憚のない意見を出していただき、また、本音で話をしていただいてありがとうございました。

私も一つの感想を申し上げるとすれば、日本は（先ほど教頭先生が言ったように）国としてのルールは決めていず、結構自由だと思っています。本当はルールなんかを決めなくても、みんなが正しいことができれば何も問題はないはずです。けれども、いろんな環境であったり、特色であったりで、その差は出てきてしまいます。使いすぎるとか、悪いことに使ってしまうとかいう人もいるでしょう。どれだけルールを少なくして、より良い社会が作れるかというのが、その集団の価値なのかなと正直思いました。

ちょっと難しい話になってしまいましたが、ぜひ大玉中学校も価値を上げて、そしてよりよい学校にしていきたいなというふうに思いますので、地域の皆様並びに生徒の皆さん、これから頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

（３）諸連絡　　（ 大玉中学校教頭 ）

・ テーブルに人数の感想用紙があるので、感想をご記入の上お帰りください。
・ 記録用紙は、付箋を貼ったままでそのままテーブルに置いてください。

（４）閉会のことば　　（ おおたま学園ＣＳ委員会副会長　吉田　　都 ）

長時間にわたり、午後から大変お世話になりました。中学生の皆さん、先生方本当にありがとうございました。以上をもちまして、令和８年度大玉中学校学校運営協議会を終わります。薄暗くなりますので、足元、交通事故等に気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。